

有珠山

1 概況

火山活動は静穏な状態です。

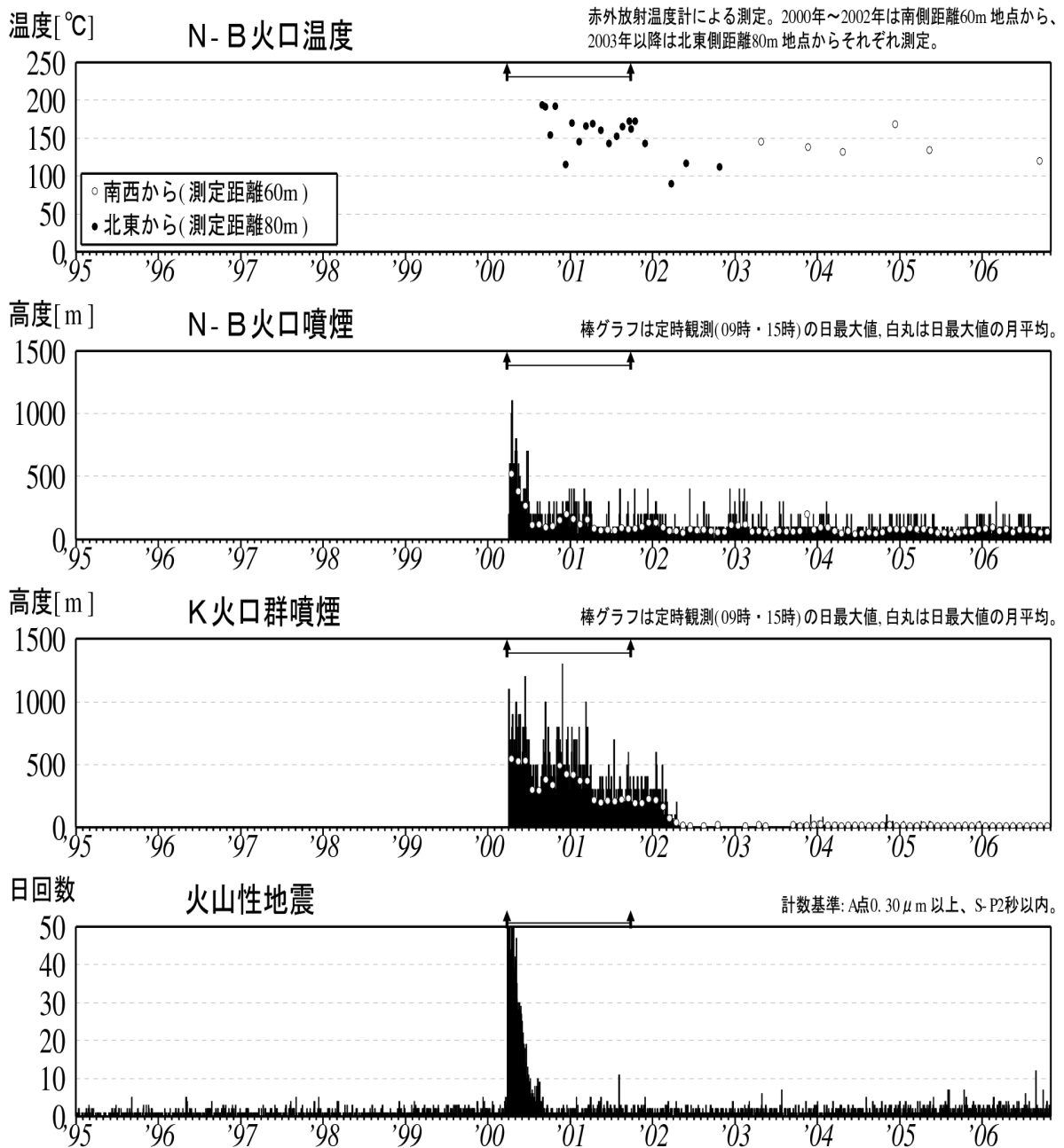


図1 有珠山 最近の火山活動経過図（1995年1月～2006年10月）

↑印で挟まれた期間は2000年噴火活動期

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の『数値地図 50m メッシュ (標高)』を使用しています。(承認番号 平17総使、第503号)

2 噴煙の状況

西山西麓（N）火口群の N-B 火口では、弱い噴気活動が続いており、噴気の高さは火口縁上おおむね 100m 以下で推移しました。金比羅山（K）火口群では、時折ごく弱い噴気が観測されました。その他、山頂火口原や昭和新山でも弱い噴気活動が続いていますが、特段の変化は認められませんでした。

3 地震および微動の発生状況

火山性地震は 1 日あたり 0～4 回と少ない状態で経過しました。震源はこれまでと同様に山頂部直下の浅い所（山頂から深さ 1.5km 付近）に集中していました。

火山性微動は観測されませんでした。

表 1 有珠山 地震・微動の月回数（A 点：図 2 の USUA）

2005～2006 年	11 月	12 月	1 月	2 月	3 月	4 月	5 月	6 月	7 月	8 月	9 月	10 月
地震回数	29	33	26	34	40	35	29	32	35	34	40	33
微動回数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

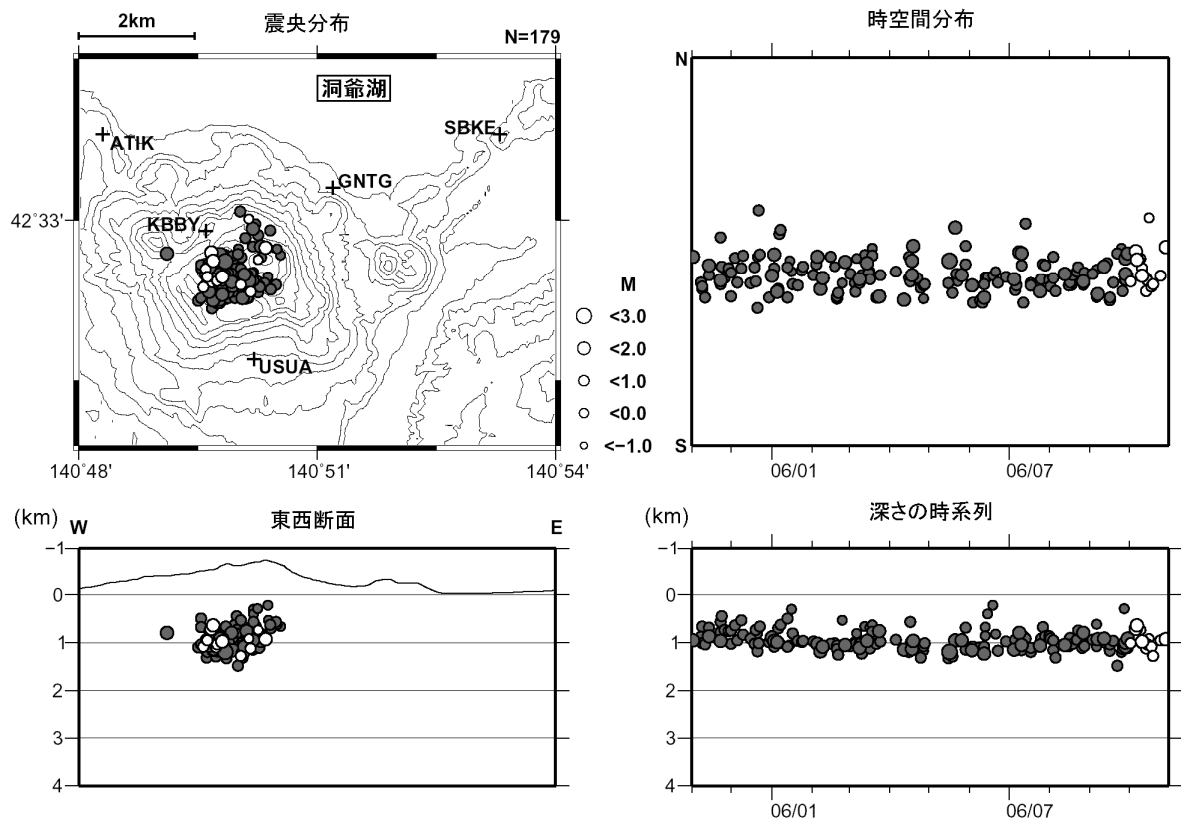


図 2 有珠山の震源分布図（2005 年 11 月～2006 年 10 月、+は地震観測点）

○印は今期間（2006 年 10 月）に求まった震源を示しています。

●印は前期間までの 11 ヶ月間（2005 年 11 月～2006 年 9 月）に求まった震源を示しています。

前期間までの震源は山頂部直下の浅い所（山頂から深さ 1.5km 付近）に集中しています。今期間に求まった震源もこの領域内に分布しています。

4 地殻変動の状況

GPS 連続観測では、火山活動の高まりを示すような変動は認められません。

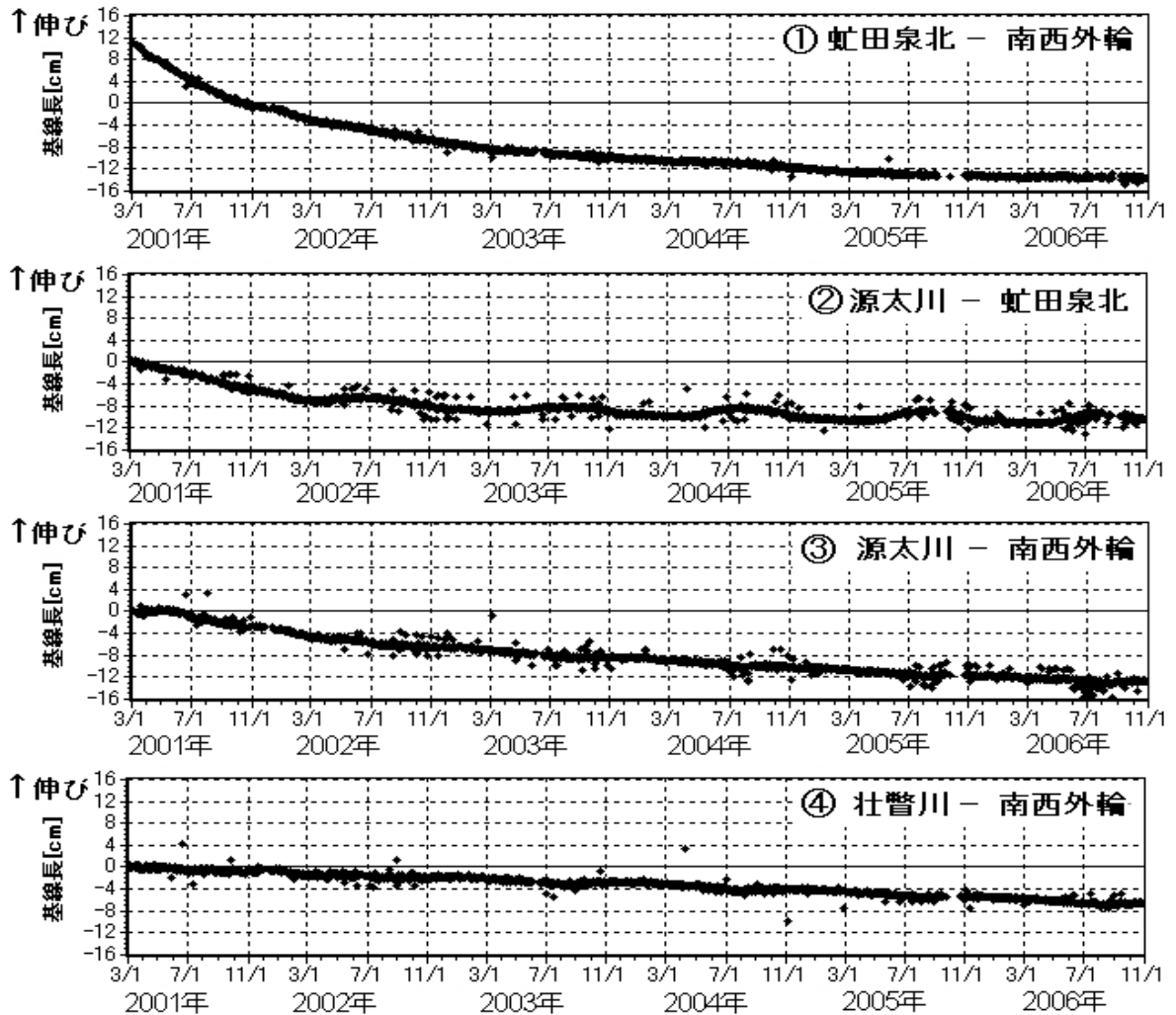


図 3 有珠山 基線長変化 (2001 年 3 月～2006 年 10 月) グラフの空白部分は欠測

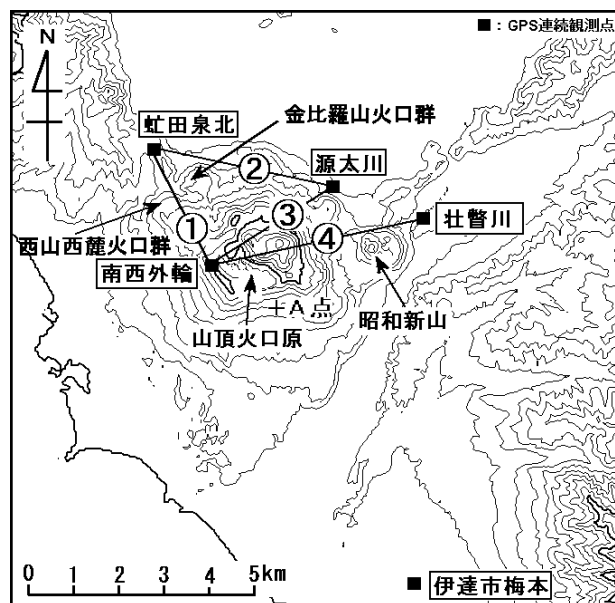


図 4 有珠山 GPS 観測点配置図